

平成 27 年度 第 2 回 しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成 27 年 11 月 18 日 (水)

13 時 40 分～15 時 00 分

場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」2F 会議室

1 開 会

会議成立の報告 (事務局)

委員 26 名中 18 名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。
(協議会規約第 6 条第 2 項)

2 あいさつ (しなの鉄道活性化協議会会長)

当協議会会長を務めさせていただいておりますしなの鉄道株式会社専務取締役の春日でございます。どうぞよろしく願い致します。司会からもございましたが、本日は大変お忙しい中、また雨も降りまして足元も悪い中お集まりいただきましてありがとうございます。平素からしなの鉄道の運営に関しまして様々な場面でご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして感謝を申し上げます。

11 月に入りまして、上期 4 月から 9 月までが終わりいよいよ上期の決算状況という話になってまいりますけれども、今月中には取締役会の方に提出をして決議をしていただいて、そのあと公表という段取りとなろうかと思っております。現在まだ計数精査中ですので、確定的な事は申し上げるわけにはいきませんが、簡単に本年度前半の状況をわかる範囲でお伝えさせていただければと思っております。

まず前半のしなの鉄道線の状況でございますが、ご案内どおり北陸新幹線が金沢まで延伸したという事や、4 月から 5 月にかけての御開帳では、大変多くの方に参拝いただいたという事をお聞きしております。そのような追い風もございまして、しなの鉄道線の輸送人員について半年間の前年比で申し上げますと、定期外いわゆる普通ローカルとっておりますが 105 パーセント後半の数字でございます。若干定期は落ちますが、定期を含めた全体では 102 パーセント台前半というような事になっており、追い風があった事も幸いしまして、おおむね順調に輸送ができたのではないかなと、お客様に乗っていただいたのではないかなというような、現在感想をもっています。

また、あわせて本協議会はしなの鉄道線でございますけれども、北しなの線のご紹介をさせていただきます。北しなの線は 3 月 14 日、当社としましては第二の開業という事で全社あげて取り組んでまいりました。おかげさまで、トラブルも若干ありましたが、おおむね順調という形であります。計数的な事は申し上げられませんが、北しなの線に関しましては、平成 25 年に県が中心に需要予測調査というのをやっております。その予測調査と比べて、ほぼ予測どおり、またその予測調査を基に平成 27 年度の北しなの線の輸送人員が

れくらいになるか、収支がどれくらいになるかという予算も策定しておりますが、その予算と比べましてもほぼ予測どおりというような形で、輸送面においても順調な滑り出しになっております。ただ、北しなの線はご案内のように全国でも有数の豪雪地帯を走る線区でございますので、これからの初めての冬期運行というのが非常に課題となっております。社内でもプロジェクトチームを立ち上げまして、北しなの線の冬期の安全・安定輸送の確保という事を至上命題にして現在取り組んでいるところでございますので、今後ともご支援、ご協力の方をお願いしたいと思います。

それから、観光列車「ろくもん」でございます。これは皆さんも新聞等でよく目にさせていただいてその好調ぶりというのは実感されていると思うのですが、特に去年、スタート時は若干知名度不足ということもあって、お客様がなかなか乗っていない時期もありましたけれども、3月以降はむしろ予約がなかなか取れない状況が続いております。とりわけお食事付きプランは80パーセント後半ぐらいの月もあります。相席不可ということでやっており、80パーセント後半というのはほぼ満席状態という事です。冬場は若干落ちると思いますが、今のところ非常に好調ということを目指していただきたいと思います。観光列車は、当然新機軸というのを、飽きられないうちに出していくということも必要でございますので、姨捨への乗り入れですとかトライしましたが、そんなことも含めて今後ともいい商品をつくっていききたいと、このように思っております。

本日の協議会では、平成26年度に皆さんの補助金等をいただいて施工致しました地域公共交通確保維持改善事業の事業評価、それから、今年度の協議会事業の実施状況につきましての中間的な報告をさせていただきたいという点と、来年以降、こういった方向でこの協議会を進めていくかということにつきまして考えたいと思います。活発なご議論いただきまして忌憚のないご意見、ご提言を賜りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

以上、簡単でございますけれども、あいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

3 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

(1) しなの鉄道活性化協議会規約の一部改正について

事務局から「資料1」を説明。

（異議なし、原案のとおり承認。）

(2) 平成26年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局から「資料2」を説明。

（質問・意見特になし。）

(3) 平成27年度しなの鉄道活性化協議会事業の進捗状況について

事務局から「資料 3」を説明。

(質問・意見等)

ア. より利用しやすいダイヤという事で、軽井沢小諸間の増便事業を小諸市さん、御代田町さんと軽井沢町、三市町で負担をさせていただいております。今回、こういう調査を行っていただいて、更なる増便に向けた方向性で考えていただいていると思うのですが、昨年の各駅等の状況、乗降客の増加状況とかを見させていただく中で、増便だけが全てではないですけれども、三市町の増便事業をしていることによる増加が見込まれていくのかなと考えます。他のところに比べて 100 パーセントを超えるというか昨年よりも増えていっていると考えます。平成 22 年度から増便事業はあるのですが、その成果がそれなりにでているのかなという気はしています。そういう中で、JR 関係のダイヤ改定に合わせた接続の改善等も皆さんにご苦労いただき、利用者の利便性を向上させるということで、遅くなる新幹線の最終便に出来るだけ接続あるいはそこから乗り継ぎができるような設定ということ、人数的には少ないのですが、やはりそういう利用が出来るという事が分かることによって、かなり利用が伸びてきているだろうという風にも踏んでいます。今まで三市町で基本的には負担をしてきておりますが、しなの鉄道さんの経営状況の許す中で、負担の内容を少し考えていただければ良いかなと思います。どうしても難しい部分はあると思いますので、そういうところは地元で負担はしていくべきだとは思いますが、どうにかご考慮いただければと考えています。

<事務局>

ありがとうございます。今回この場で調査をした結果について大枠としてお示しさせていただきましたのですけれども、私ども、一本一本調べた結果もでございます。そういったものを含めまして、各三市町さんにまずご相談申し上げて、状況を分析し、今後どうしたら良いかという事をご相談しながら時間をかけて検討させていただいて、またこの協議会の場で方向性を示して協議をいただければと思っております。

イ. 今、事業の状況の中で、駅周辺の活性化と地域の連携の関係で、駅の周辺の賑わいという事で色々な事業に取り組んでいるわけですけれども、今年の秋に屋代駅では秋フェスタというイベントを行いました。これは屋代駅の半分が千曲市の所有であり、屋代駅の市民ギャラリーにて、今年、県の元気づくり事業の中で多彩な催し物を行おうということで、千曲商工会議所が事業者になって行ったものです。市民ギャラリーは、飲食及び物販は禁止されていますが、もう少し賑わいのでるものを多角的にやろうという事で、駅利用者を増やし、どんどん電車を利用いただき、駅中キャンパスという位置付けで色々な事を提供してもらおうという一端で行いました。ここら辺のところは他の駅のイベントもそうですが、少し列車の中で PR みたいなことをもっと出来ないのかという意見がございます。せっかく、例えば屋代駅の場合でもそうです

が、他の駅でもイベントをやる時に「今日はここでこのようなイベントをやっています。来週からこんな事やって、こんなものが見られます。」とか「手に入ります。」という様な事を PR してもらえればどうかという事が一点です。

それから、環境整備の中で、屋代駅のコンコースに芸術家の「越ちひろ」さんがイベントにおいて白い布に思い思いに絵を描いたものを飾りました。当初は、駅構内にある長野電鉄の廃線のところに広告がいっぱい真っ白になった場所が見苦しいという事で、そこに飾ったらどうかという話しでした。残念ながら間に合わなかったため出来ませんでしたが、廃線の跡が雑草は伸び放題、そこにある看板は真っ白になったまま、非常にイメージが悪いと思います。それは長野電鉄の財産のためなかなか難しいのですが、何かもう少し活用する方法があるのではないかと思います。収入を確保する面からも、もう少し両社で、駅周辺の環境整備と合わせてやった方がいいのではないかと思います。それともう一つは、駅の改札口から外に出る部分が、待合室とコンコースになっていますが、そこに千曲商工会議所が経営している「屋代駅ウェルカムステーション」があります。駅の構内それから市民ギャラリー含め、美観が損ねられているといった感があります。千曲市とは話が済みましたが、しなの鉄道さんに来ていただいて皆で現地を見て、もう少し綺麗なしつらえをするべきではないかという事を提案しました。どこの駅もそうだと思うのですが、綺麗で気持ち良く通勤・通学が出来る様なしつらえと同時に、そこに行けば何かプラスになる様なものが日常的に出てくれば、非常に駅利用者も増えてくるのではないかと考えております。そのような反省事項または総括が出ておりますので、しなの鉄道でも対応していただければと思います。

それから、ダイヤ改正についてはまた後で申し上げます。

<事務局>

ありがとうございます。三点ございました。まず、イベントの PR という事ですが、当社の方でもツールとしまして列車内で中吊り広告も出来ますし、あるいはしなの鉄道のホームページを通じた PR も出来ます。逆に沿線自治体さんの広報誌等を含めて色々な観光情報や沿線のイベントを広く伝えていきたいと考えておりますので、情報提供いただき、活用していきたいと思っております。

それから、長野電鉄さんの廃線の関係につきましては、長野電鉄さん、自治体さんと沿線の住民の方と話しながらどういう方向が良いのかということを探求していきたいと思っております。

最後に、駅のしつらえの関係は、当社でも駅をコミュニティーの場としてどんどん使ってもらい集まっていこうという方向でやっております。是非検討する場を設けていただければ参加しますので、いい方向にもっていければと思っております。

<議長>

よろしいでしょうか。

当社としても工夫はしていきたいと思っております。

他にございませんでしょうか。

(特になし)

(4) その他（今後のしなの鉄道活性化協議会事業について）

事務局から「資料 4」を説明。

<議 長>

説明は以上でございますけれども、今日初めてお見せしたざっくりとした案なのでご意見というのはなかなか難しいとは思いますが、今日お渡ししてご意見の方は随時お受けいたしますので、また肉づけをさせていただいて、最終的には次回の決定をさせていただきたいと思っております。今日この場で、この様な事を付け加えたらどうかとか何かございましたら、ご意見をいただければと思います。何かございますでしょうか。

(質問・意見等)

ウ. 旅客サービスの向上の中で、協議事項の 1 番とも関わりがあるのですが、新幹線のダイヤ改正によって上田駅から下り接続の関係が非常に悪くなったという声が出ています。本当にそうなのかどうか、ニーズないし実情も合わせて調査の対象にしてもらえればと思っております。

それと、これは毎回言っているのですが、新幹線の最終電車と接続がない。この前も千曲市の議会で出ましたが、今、若い利用客が日帰り東京へ行く機会がどんどん増えてきている。最終電車等を利用して帰宅出来るならば、若い利用客も増えやすいか、そういう願望めいたことも出ています。毎回これはとても難しいという事で一掃され、昨年も長野の東北信の会頭さんが要望に行ったのですが、後どうなったかという事もありますので、私共長年要望している部分についても、真剣になって取り組んでいただければと思っております。二点、以上です。

<事務局>

ありがとうございます。まず一点目の接続の関係は、一日通してということでしょうか。その辺については、また分析して実際どうなのかという事は社内でやっていきたいと思っております。

それから、最終便の関係ですが、去年もお話合いの場を持ちましたが、実際調べてみますと、現状、最終列車には接続していませんけれども、その一本前の列車を調べましても上田で新幹線を降りる方自体が、正確な数字を今持っていないですが、数十人という少ない数字で、その中にはしなの鉄道に乗られる方もいれば、タクシーで帰られる方等おります。一本前の列車から降りられてくる方も少なく、それが最終

列車に接続してもどのくらいいるのかということで、最終列車自体と一本前の新幹線自体で降りられる方が少ないという事が、今、ご利用される方がたぶん接続しても少ないのではないかと考えています。もう一つは、夜間工事の時間をある程度確保したいということがあり、あまり遅い時間に運行できないという事があります。その二点でなかなか難しいという実情でございます。

<議 長>

今、実はダイヤ改正の作業をやっているのですけれども、ダイヤ改正の難しい面は、しなの鉄道が持っている車両数、運転士の数、新幹線との接続、それから小海線や篠ノ井線との接続、さらに北しなの線との接続と、いくつもの条件を考えながらやっているものですからどうしてもどこかでしわ寄せが出るところがあり、一気に解決出来ませんが色々なご要望を聞いて改善出来るところは改善していくという基本姿勢でございますので、その辺はまたお聞きをしたいと思います。

エ. しなの鉄道ができる前は JR でしたので、切符を買う時にどこの駅でもどこからの駅からの区間でも買えたわけですが、今になって気が付いた事はしなの鉄道の駅では JR の関係の切符は購入できない。私は篠ノ井に住んでいて両方買えているので不便さを感じていなかったのですが、長野から北の方が長野駅から松本駅の切符を買う時に、それは買えないというふうになってしまったという事で、利便性の向上という事からするとその辺どうなのかなと思います。それから今は切符が広域化している中で何か改善というか利便性を高めるといふか、今後へ向けてしなの鉄道さんだけの問題ではなく JR との関係もあるとは思いますが、そういう点で長野県全体の鉄道利用ということを考えると何か出来ることがあるんじゃないかなという風に思っておりますので、ご検討お願いします。以上です。

(※事務局 注 北長野ー松本間の切符の購入は可。ご発言からの不可能な条件は不明。)

<議 長>

その切符の件は色々なところで要望はされていてですね、ただ、広域な切符を売るという事になりますと設備的な問題と、人の能力の問題といわゆる教育訓練しなければいけません。間違っって売るという事はやってはいけませんのでそういう訓練の問題には当然人も要りますと、という事の中で何を優先するかという話なのですけれども、今でも戸倉駅は一部売っているのですね。あと豊野駅も売っているのですが、そういうお声もありますので将来的な忘れてはいけない問題点としては認識はしております。しかし、すぐはなかなか難しい面があるなという風に考えております。

<議 長>

他にございませんでしょうか。

今、今後の協議会の方向性という事でやっておりますけれども、全体を通じてでも結構でございますので、特に経済団体の皆さんですとか住民代表の方もお見えですの

で、何かご意見とか自分たちのやっぴらっしゃる事でご紹介できることもあればご紹介していただければありがたいのですが。

例えば上田市さんは、年明けると「真田丸」という一大イベントが始まるのですが、商工会議所さんとしてはその辺は何かお客様向けというか何か考えてらっしゃいますか。

オ. 上田商工会議所では、去年からですが、上越の商工会議所と連携して広域の観光誘導をつくって商品化を目指して色々取り組んでいる中で、しなの鉄道さんの「ろくもん」に乗らせていただいて、例えば上田と上越間を「ろくもん」観光列車みたいなもので一直線に走らせていう様な事が出来れば、すごく利用者にとっても面白いのかなというのがあります。あと上越の方も今、観光列車をこれから作っていくという事もあり、しなの鉄道さんの協力を通して商工会議所と関わり、何か列車を通じて大きな観光ルートみたいなものをつくっていただければすごく良いと思います。そういった声も皆さんからもありますので、ダイヤの関係も色々あるのでしょうか、お考えいただければ是非今後協力いただきたい、ご相談させていただきたいと思います。

<議 長>

ありがとうございました。

他の商工会議所の方で、長野商工会議所篠ノ井支部はいかがですか。

カ. 前回も少しお話しさせていただきましたが、サッカーの長野パルセイロが篠ノ井のスタジアムを拠点にしております。男子のトップチームは J2 への足踏みという事で J3 に残留しますが、レディースが 1 部リーグに昇格し、来シーズンは 1 部リーグでの試合が始まります。今後、1 部リーグの全国のチームの選手、そしてサポーターの皆さんが来られますので、そこをとらえてしなの鉄道さんの「ろくもん」とタイアップし、お客さんが長野県内を周ってもらえる様なそんな方法も是非しなの鉄道さんとそれから観光業者の皆さんと連携するような形で出来たらありがたいと思います。またよろしくをお願いします。

<議 長>

他にはございませんか。

よろしいですかね。

(特になし)

(4) その他 (しなてつファンクラブについて)

事務局から「ファンクラブ通信」及びしなてつファンクラブの取り組みについて説明。

<議 長>

皆さんお知り合いの方にご紹介いただければ大変ありがたいと思います。よろしく
お願い致します。

<事務局>

本日はオブザーバーとしてご出席いただいております運輸局の方から何かご感想、
ご口上等ありましたら是非お願いできればと思いますが。

キ. ご紹介いただきました北陸信越運輸局でございます。私共の方では一番最初に議題
として取り上げていただいた事業評価に関わる補助金の事業でございますけれども、
毎年度ご活用いただきましてしなの鉄道さんの安全輸送設備の更なる向上という事に
寄与させていただいているのかなと思いますし、それにつきましては、県それから近
隣の自治体の方々からの補助も合わせてしていただいているという事でございますの
で、その件につきましては御礼申し上げたいと思います。補助金の事業でございます
ので、ご要望を毎年いただいて 100 パーセントつけば良い内容になるのですけれどな
かなかそうはいかない状況もありまして、私共が管轄しております 4 県十数社で年々
需要が増しております、来年度のご要望額だけで補助金、補助要望額ベースで私共
の管轄内で 10 億円を超えている状況になっておりますので、事業費の総額としては約
30 億円ぐらいの設備に関してのご要望が今あるという風になっております。順調に予
算付けばそれが皆さんの設備に還元されるようになるのですが、なかなか予算等がオリ
ンピックにもっていかれる法案があるのかなとか、色々な予測がある中でなかなかま
まならない状況でございますけれども、なるべく厚くそういう設備にまわる様な方法
になる様にこちらの方も上の方に伝えていきたいと思っておりますので、今後ともよ
ろしくお願ひしたいと思ひます。

4 閉 会

以 上